

平成29年度 校内研究

I 研究主題

教科等	研究主題
道徳、全教科	『確かな学力』の定着に向けての授業改善 ～認め合い、支え合い、学び合う授業の創造～

II 主題設定の理由

本校では、「よく学び、心豊かにたくましく活動する子ども」を学校教育目標に掲げ、生きる力の育成を目指している。また、学校教育目標を具現化するために、「ひろい心で助け合う子（徳）」「えい知を出して考える子（知）」「いしが強くねばり強い子（体）」をめざす子ども像に設定している。

平成21年度より『『確かな学力』の定着に向けての授業改善』を主題に、国語科を中心として全教科で、「聴く、話す」を視点をおいて、意見交流の活動を重視して研究に取り組んだ。平成25年度から三年間は、滋賀県教育委員会の指定を受け、学力向上アプローチ事業（理科）において、考力や表現力を育てる授業改善に努めた。特に意見交流『学び合い』の場を授業の中に多く取り入れ、ノート指導にも力を入れたことで、児童の思考力と表現力も確実に高まっていった。

昨年度はこれまでの主題を引き継ぎ、意見交流『学び合い』の基礎となる支持的な風土を育てるため、副主題に「認め合い、支え合い、学び合う授業の創造」を設定し、「聴く力・話す力の育成」「交流の場の設定」等を中心に、研究に取り組んだ。

特に、「聴き名人」を見直し、児童に意識させたことで、「聴く力」は育ってきている。教師がそれぞれの学年の実態に応じた取組を考え、実践したことによって、学級の仲間の意見や考えを共感的に聴こうとする姿も見られるようになり、支持的な風土の育成にもつながってきている。しかし、まだ個人や学年によって差があり、どのような姿が見られたら「聴き名人」といえるのか、より具体的に評価していくかについては課題が残った。

また、授業研究で重点的に取り組んだ「交流の場の設定」については、これまでの積み上げから、6年では学習の中で自然に交流が始まるほど、子どもたちに交流は根付いてきている。成果を上げている学年が上学年に多い傾向からも、今年度、交流の場を多くの教科で取り組んだことが有効であったことがわかった。一方、学年によっては活発な意見交流『学び合い』ができなかった教科の学習もあった。意見交流『学び合い』をどのような場面で使うのが効果的なのか、どのような課題設定を行えば児童が主体的に意見交流（学び合い）を行うのか、学年の発達段階や系統性を考慮しながらこれらのことを明らかにする必要がある。

そこで、今年度も『『確かな学力』の定着に向けての授業改善』を研究主題とし、「認め合い、支え合い、学び合う授業の創造」を副主題に設定し、児童の「聴く力」を高めて学び合いの基礎となる支持的な風土を育てるとともに、学年に応じた意見交流のあり方を探究しながら『学び合い』の研究を進め、児童ひとり一人が学びを実感できる授業改善に努めていきたい。

Ⅲ 研究内容

○聴く力の育成

- ・学年の発達段階に応じた「目指す子ども像」をもとに、新しい「比叡平小学校 聴き名人」を作成するとともに、日常的に「聴く力」を育てる取組を考え、実践する。
- ・作成した「比叡平小学校 聴き名人」をもとに、教師と児童がそれぞれ評価を行う。

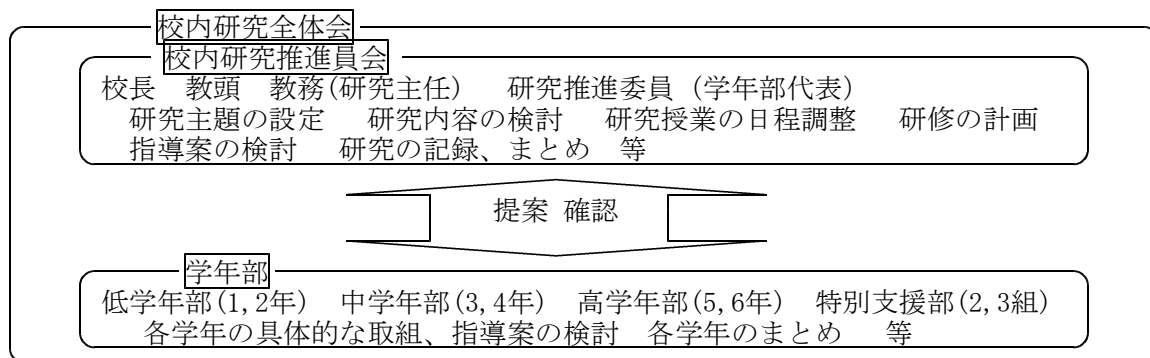
○主体的な学び合いの場の設定

- ・仲間の意見を聴きたい、仲間に意見を話したいと思える、主体的な「学び合い（意見交流）」が生まれる授業づくりに取り組む。
- ・学年の発達段階に応じた「目指す子ども像」をもとに、教師が自身の「学び合い」の授業を評価する。

○ノート指導の徹底

- ・問題解決学習型のノート指導に取り組む。
- ・子どもの力を引き出す自主学习ノートづくりに取り組む。

Ⅳ 校内研究体制の概要



Ⅴ 過去5年間の研究主題と指定研究歴

- 平成23年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～自分の考えや思いを持ち、意見交流するだいらっ子の育成～
- 平成24年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～自分の考えや思いを持ち、意見交流するだいらっ子の育成～
- 平成25年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～自分の考えや思いを持ち、意見交流するだいらっ子の育成～
～科学的な思考力を身に付けさせる指導内容と指導方法の工夫・改善～
- 平成26年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～自分の考えや思いを持ち、意見交流するだいらっ子の育成～
～科学的な思考力と表現力をつなぐ言語活動を充実させた指導方法の工夫・改善～
- 平成27年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～自分の考えや思いを交流し、学び合う授業の創造～
～科学的な思考力と表現力をつなぐ言語活動を充実させた指導方法の工夫・改善～
- 平成28年度 『確かな学力』の定着に向けての授業改善
～認め合い、支え合い、学び合う授業の創造～

<研究指定歴>

平成25年度～27年度 滋賀県教育委員会指定 学力向上アプローチ事業（理科）